

生田緑地の雑木林を育てる会 活動報告(マネジメント会議準備会) 2011年12月14日

1 鴛鴦沼地区

40年間放置されていた里山で、隣地の私有地は一部で筍を生産する竹林となっている。越境した孟宗竹とアズマネザサが繁茂する藪になっていた。2007年から作業を始め、2年かけてササを切り、次に竹を切った。雑誌現代農業に12月～2月に竹を1mの高さに切ると、春に竹は水吸い上げて液を吹き出し根まで枯れるとあった。12月竹を切った。昨年12月にようやく全部切り終えた。しかし2年前に切った竹でもゆすつてもビクとも動かず雑誌の記事とは一致しない。けれど根元が枯れて来ている。日当りの良い場所の切り株は液を



2007年



2011年11月作業後

噴き出して汚れている。2011年春からは1会員が月2回程度見回り、出てくる竹の休眠芽を切っている。現在はササのような形。でもササではなく成長が異様に早く軟らかい。隣地の竹と根がつながっているのも何時までも竹が出る原因と考えられる。



10月の台風でコナラが折れた。道路公園センターは園路から外れているので処置しない。これを切り倒すと明るくなった。直径は36センチだった。



実生の常緑樹はまだ全部は切れていない。枯れ木もある。出来たら年に2回ササをを切って明るい状態を保ちたい。

ランやヤクシソイウ等の山草も出てきている。でもフジやクズ等歓迎しないものも出てきた。

40年放置されていたので、細い木も樹齢は高いと思われる。古い木を切り、苗を植えることも試みたい。

2 アジサイ山

藤棚に日当たりを良くするために、2006年6月藤棚周辺のヒサカキ等の常緑樹を除伐。翌年数個の花が咲く。
例年7月第4週の日曜日にアジサイの花柄摘みをしてきた。背が高くなりすぎて、園路に被さってくるので園路の右側だけを強剪定し、ササも切りアジサイを復活させることになった。笹を切るとマテバシイなどの常緑樹が目立ち日影を作っていることが分かった。



2010年2月ヒノキ3本除伐。一番太い木は皮をむき広場にベンチとして置いた。藤は北側が咲くようになった。
2010年3月アジサイを強剪定した。日影だったので徒長している木が多くて背を低くできなかった。
2010年5月にマテバシイ、ネズミモチ等を切った。まだ切り株から萌芽がして来て頻繁に切らねばならない。
2011年3月マテバシイやネズミモチためにアジサイが枯れてしまっていた場所に道路公園センターが補植した。西洋あじさいとガクアジサイ。ともに小さな苗だったが、無事育ち花が咲いた。
5月頃から多量のアジサイハバチが発生し葉を食い荒らした。地下でサナギで越冬し春1ヶ月ほど葉を食う。気づいてからは捕獲作戦を実行。300匹くらいはが一度で捕まる。道路公園センターも実行。
例年階段のわきのアジサイは葉を食われていた。補植されアジサイがつながったので移ってきてしまった。
7月第2週日曜日アジサイの下草刈り。第4週はアジサイの花柄摘み。花数が多く大変だった。



2011年9月に再びあじさいの下草刈りをしました。まだ苗が小さくて、雑草がアジサイより大きく伸びた。ササも出ているので今後も下草刈りが年に数回必要。また背の高いアジサイを小さく切りつめたい。徒長させないために、日当たりを良くする必要がある。藤も沢山咲いてほしい。

花柄摘み



3 ばら苑西口付近

春と秋の開園前に作業している。隣地の私有地から越境する竹と笹を主に切る。日当たりのよい所はアカメガシワや桑も半年で育ってしまう。始めた時はアズマネザサが大きく作業が大変で1回では終わらなかった。この数年は1回で終ることができる。今年10月は台風でれたコナラの処理が大変だった。ロープを使い方向を決めて倒した。